

おもちゃの整理からみんなが使いやすい環境を整える

対象 5歳児かえで組 作成者 進藤早苗 作成日 6月3日(月)

ねらい みんなが気持ちよく使う為にはどうしたらいいかを考え、自分の出来ることをする



保育の振り返り

子どもたちを見ていると片づけ時に籠に入れてお終い！の片付けしか定着せず、いつも遊びたいおもちゃを探すのに時間かかっているように見えました。保育者がさりげなく元の場所に戻しておくものの、みんなで使うとまたすぐにぐちゃぐちゃになる毎日です。

籠には片づける場所の写真も貼ってあります。ある時、子どもたちに話をしてみました。「おもちゃ沢山あって使いたいもの探すの大変じゃないかな？」子ども達から返ってきた答えは、「私たちすぐ見つけられるから大丈夫！」・・・子どもたちとのやりとりで、気づかされました。子どもたちは宝探しのよう、おもちゃを見つけだしていたんだと。そして私は綺麗に片づける事にばかり目を向けていたことも・・・。

だったら、片づけも遊びの延長で出来たらもっと楽しめるはず！？子どもたちとおもちゃを数えながら入れてみました。途中で分からなくなっても友達が助けてくれる！「楽しく嬉しいな。」「おもちゃ並んでいたら綺麗で気持ちが良いね。」そんな声が聞こえるように。

他にも何か良い方法はないかなと試行錯誤しながら、一緒に考えていこう。もっと続けてみよう。と感じられた日でした。

(協同性、言葉による伝え合い、道徳性・規範意識の芽生え、豊かな感性と表現、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)